

月刊島民

中之島

Vol.13 2009 8/1

橋を渡る人の「街事情」マガジン



なかのしまカンタービレ!



シマに音を
解き放て

大阪クラシック

夏の終わりの1週間、御堂筋を吹き抜ける風は無数の音符をはらむ。時に優美に、時に厳かに、猛暑に疲れた都会を癒す。調べの主は、関西を代表するオーケストラ「大阪フィルハーモニー交響楽団」の楽団員たち。80人のフルオーケストラを離れ、弦楽四重奏や打楽器アンサンブル、ソロ演奏などさまざまな編成で、ビルのロビーやホテル、カフェを舞台に演奏を繰り広げる。

4回目を迎える街の音楽祭「大阪クラシック」。今年は8月30日から9月5日の日程で開かれる。

「大阪の街に恩返しを」、そして「クラシックをもっと身近に」という思いで始まったイベントは年々規模を広げ、今年は22会場で約100公演。世界中に音楽祭は数多あれど、一つのオーケストラが中心となり、1週間にわたってこれだけの公演をこなすのは例がない。それは、「キャラの強い人が多くて動物園みたい」「みんな仲が良くてしょっちゅう飲みに行ってます」と楽団員が口々に語るように、個性派ぞろいで開放的な雰囲気の大フィルだからこそ、のイベントなのである。

街を舞台に奏でる楽しさ



街そのものを舞台に、ふだんとは違うかたちで演奏する場合は、一人ひとりがプロの奏者である楽団員にとっても大きな意味を持つ。「オーケストラは80人が一つになる調和の芸術。何人もいるパレードだ」と、『私の音』を聴いてもらうのは難しいけれど、

大阪クラシックではそれができるのがうれしい」というのはピオラの吉田陽子さん。バイオリンの今城朋子さんは「室内楽のアンサンブルは最少単位だから、オケとは違う緊張感がある。一人でも人前に立てる力を常に磨いておくためにも、そういう中で演奏する経験が必要なんです」と話す。

無料公演だから選曲や編成の面で思い切った冒険ができるし、たまたま通りかかる人もいるから、曲やメンバー紹介のMCなど、関心を持ってもらうためのコミュニケーションも重要になる。何より、お客さんの反応を手に届く距離で感じられるのはホールにはない喜びだ。

「クラシック音楽にはもともと、小さなホームパーティーなどで飲んだり食べたりしながら、気軽に演奏を楽しんでいた歴史があるんです。そんな原点の時代に近い気がしますね」とチェロの石田聖子さん。

ドレスアップして出かけるホールコンサートとはまた違う、日常とともにある音楽の楽しみを見つけることができれば、このイベントを満喫したことになるのだろう。演奏者も、オーディ

路上で、駅前で、カフェで。街に音楽が溢れるミュージックストリートイベントが各地で盛況だ。が、さすがに中之島はひと味違う。テーマはクラシック。シマを舞台にした一大演奏会がもうすぐやってくる。

取材：文／松本創（本誌）

クラシックがやってくる

ヤア!ヤア!ヤア!



右からフルートの井上登紀さん、第1バイオリンの今城朋子さん、ピアノの吉田陽子さん、チェロの石田聖子さん。弦楽器の3人は、弦楽三重奏としても活動を共にしている。

大阪クラシックCalendar

8.30
sun

11:00AM～ 三菱東京UFJ銀行
チャイコフスキー／組曲「くるみ割り人形」ほか
(大阪音大・相愛学園合同オーケストラ 指揮:大植英次)
※整理券配付
11:30AM～ 大阪市役所シティホール ヴィオラ・アンサンブル
0:00PM～ ニッセイ同和損保フェニックスタワー フルート、ハーブ
1:00PM～ カフェ・ド・ラベ ピアノ、コントラバス、
1:30PM～ 三菱東京UFJ銀行 プーランク／フランス組曲
2:00PM～ 相愛学園 ファンメル／ピアノ五重奏曲

8.31
mon

11:00AM～ リーガロイヤルホテル プラームス／ピアノ三重奏曲
11:30AM～ ザ・フェニックスホール
0歳児からのクラシック(「となりのトトロ」など) 500円
0:15PM～ 明治安田生命ビル ハイドン／弦楽四重奏曲「騎士」ほか
1:00PM～ 大阪弁護士会館 ヘルヴァルド／ヴァイオリンデュオ
2:00PM～ ザ・フェニックスホール モーツァルト／ピアノ四重奏曲 500円
2:30PM～ 関西電力本店 ヘンデル／パッサカリア
3:00PM～ 梅新第一生命ビルディング サクソフォン
3:30PM～ カフェ・ド・ラベ バルトーク／ルーマニアダンスほか

9.1
tue

11:00AM～ リーガロイヤルホテル 大植剛典十鍵盤
0:00PM～ カフェ・ド・ラベ トランペット、ピアノ
1:30PM～ 大阪弁護士会館 サクソフォン
1:30PM～ 中央公会堂中集会室
モーツァルト／ディヴェルティメント 500円
2:00PM～ 国立国際美術館 プラームス／弦楽五重奏曲
2:30PM～ カフェ・ド・ラベ ドヴォルザーク／ピアノ四重奏曲
3:00PM～ 阪急梅田駅BIGMAN前広場 パーカッション
3:30PM～ 梅新第一ビルディング ヴァイオリン

9.2
wed

11:00AM～ 中央公会堂中集会室
プラームス／ピアノ三重奏曲(クラリネット三重奏曲) 500円
11:30AM～ 大阪弁護士会館 フルート、ギター
0:00PM～ カフェ・ド・ラベ チェロ
0:30PM～ 北御堂 サクソフォン、ピアノ
1:00PM～ オカムラショールーム 金管五重奏曲
2:00PM～ 竹中工務店 ギター

9.3
thu

11:00AM～ 中央公会堂中集会室
ハイドン／シンフォニア・コンチェルトタンテ 500円
11:00AM～ オカムラショールーム 0歳からのクラシック(「崖の上のポニョ」ほか)
11:30AM～ 国立国際美術館 オーボエ、クラリネット、ヴァイオリン
0:15PM～ 明治安田生命ビル フルート、ヴァイオリン、チェロ
1:00PM～ カフェ・ド・ラベ コントラバス、ピアノ
2:00PM～ 関西電力本店 ヒンデミット／五重奏曲
2:00PM～ 国立国際美術館 プラームス／弦楽五重奏曲
2:30PM～ スターバックス東芝ビル店 フルート、ホルン、ヴィオラ

9.4
fri

11:00AM～ 中央公会堂中集会室 ベートーヴェントリオOp25 500円
11:30AM～ 国立国際美術館 ポッケリニ／弦楽三重奏曲
11:30AM～ 関西電力本店 ホフマン／トリオOp.1ほか
0:30PM～ オカムラショールーム 金管五重奏曲
0:30PM～ 北御堂 プラームス／ピアノ四重奏曲
1:00PM～ カフェ・ド・ラベ ヴァイオリン、チェロ、ピアノ
2:00PM～ 国立国際美術館 モーツァルト／協奏交響曲
3:00PM～ オカムラショールーム ロッシーニ／フルート四重奏曲

9.5
sat

11:00AM～ 大阪弁護士会館 モーツァルト／弦楽五重奏曲第3番
11:00AM～ 大阪市役所シティホール
ホルン、フルート、クラリネット、ヴァイオリン、チューバ
11:30AM～ カフェ・ド・ラベ プラームス／チェロ・ソナタ第2番
0:30PM～ 京阪神不動産御堂筋ビル ヴァイオリン
1:00PM～ スターバックス東芝ビル店 ヴァイオリン、ヴィオラ
1:30PM～ 大阪弁護士会館 パーバー／弦楽四重奏曲
1:30PM～ 大阪市役所シティホール 打楽器四重奏
2:00PM～ 関西電力本店 プラームス／ヴァイオリンソナタほか

3:00PM～ スターバックスコーヒー東芝ビル店 ヴァイオリン、ヴィオラ
3:30PM～ 大阪市役所シティホール ギター、ソプラノ
4:00PM～ 三菱東京UFJ銀行 フルート四重奏
5:00PM～ カフェ・ド・ラベ メンデルスゾーン／ピアノトリオ
5:30PM～ スターバックス東芝ビル店 ハイドン／トリオ
6:00PM～ 大阪市役所シティホール ヴァイオリン、ヴィオラ
6:30PM～ 相愛学園 ベートーヴェン／弦楽四重奏曲第6番
8:00PM～ ザ・フェニックスホール ヴァイオリン(長原幸太) 500円

4:00PM～ スターバックス東芝ビル店 トロンボーン、チューバ
4:30PM～ ザ・フェニックスホール
ベートーヴェン／ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 500円
5:00PM～ オカムラショールーム ファゴット四重奏
6:00PM～ 中央公会堂中集会室
コントラバス、パーカッション、ピアノ 500円
6:30PM～ カフェ・ド・ラベ チェロ、ピアノ
7:00PM～ 相愛学園 トランペット、パーカッション
8:00PM～ 中央公会堂大集会室 ヘンデル／コンチェルトほか 500円

4:00PM～ 中央公会堂中集会室 フランセ／八重奏曲 500円
4:00PM～ 関西電力本店 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
4:30PM～ 中之島セントラルタワー リゲティ／チェロ・ソナタ
5:00PM～ 大阪ガスプラテラス パッサノ／バルティータ
6:30PM～ 相愛学園
ヴァイオリン、トランペット、ホルン、チューバ、パーカッション
7:00PM～ スターバックス東芝ビル店 メルカダント／フルート四重奏曲
8:00PM～ 中央公会堂大集会室
フルート、オーボエ、ファゴット、クラリネット、ホルン

3:00PM～ 北御堂 フルート、ピアノ
4:00PM～ 中之島セントラルタワー サクソフォン
6:30PM～ カフェ・ド・ラベ R.シュトラウス／アルプホルンほか
7:00PM～ 相愛学園 ベートーヴェン／七重奏曲
7:30PM～ スターバックス東芝ビル店 パッサノ／「音楽のいけにえ」ほか
8:00PM～ 中央公会堂中集会室
ヴィヴァルディ／2つのトランペットのための協奏曲ほか 500円

3:00PM～ オカムラショールーム ヴァイオリン、ヴィオラ
4:00PM～ 中之島セントラルタワー ヴァイオリン
5:00PM～ 大阪弁護士会館 オーボエ、クラリネット、ファゴット
5:30PM～ カフェ・ド・ラベ オーボエ、ピアノ
6:00PM～ 中之島ダイビル サクソフォン
6:30PM～ 相愛学園 ヴィオラ、ピアノ
8:00PM～ ザ・シンフォニーホール
管弦楽(大阪フィル 指揮:大植英次)
モーツァルト／ピアノ協奏曲第8ほか 500円～1,500円

3:00PM～ 北御堂 サクソフォン、ピアノ
4:00PM～ 関西電力本店 フルート、ヴィオラ、ハーブ
5:00PM～ 竹中工務店 金管五重奏曲
6:00PM～ 中之島ダイビル ベートーヴェン／七重奏曲
6:30PM～ カフェ・ド・ラベ フルート、ピアノ
8:00PM～ ザ・シンフォニーホール 管弦楽(大阪フィル)
ヴィヴァルディ／ピッコロ協奏曲ほか 500円～1,500円

2:30PM～ カフェ・ド・ラベ プラームス／ピアノ四重奏曲第1番
3:00PM～ 中之島ダイビル ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
4:00PM～ 京阪神不動産御堂筋ビル サクソフォン
5:00PM～ 中之島ダイビル フルート、メゾソプラノ、チェロ
6:00PM～ カフェ・ド・ラベ ヴァイオリン、ピアノ
6:30PM～ 大阪市役所シティホール フルート
8:00PM～ 三菱東京UFJ銀行
管弦楽(大阪フィル 指揮:大植英次 ナレーション:平松邦夫)
コーブランド／リンカーンの肖像ほか ※整理券配付

大阪フィルハーモニー交響楽団 音楽監督 大植英次さんから島民へ



世界広しといえど、ひとつのオーケストラでここまでの数の演奏会を1週間にわたって行うことは、大フィル以外では考えられません。こんなに街なかでやれたり、リアクションが良いのも大阪の人たちのノリの良さがあってこそでしょうね。大阪にあるオーケストラとして、街づくりに明確に関わることができてとても幸せに思いますね。大阪クラシックでは、赤ちゃんからサラリーマン、主婦、ご年配の方まで、みんなで時間を共有できるようにすることが目標です。観客の皆さんが感じたことはそのまま奏者に伝わりますから、この期間は何も気にすることなくとにかく演奏会を楽しんでください。奏者もみなさんを喜ばせたいという気持ちで一杯です。その思いを伝えようということが表現力につながり、オーケストラ全体のレベルアップにもなる。音楽監督としてもありがたい機会なのです。

中之島は本当に優しい街だと思っています。美味しい食堂もあるし、人も親切。大阪へ来たときはいつも川沿いを散歩するんですよ。

とはいえ、繊細で緻密な表現を追求するのがクラシック音楽。街の喧騒の中にいてやりにくくないのだろうか。聴く側としては、どんな姿勢で接すればいいのだろう。そう聞くと、フルートの井上登紀さんの答えは「いや僕なんか、かしこまった感じが苦手なので(笑)、むしろ舞台と客席の境がない所でやってみたいというか。人の集まっている場所へこちらから出て行く楽しみのの方が大きいので、聴く方も自由に楽しんでもらえばいいんですよ」。

吉田さん、今城さん、石田さん、井上さんの4人はフルートカルテットを組み、イタリアの作曲家メルカダントの「隠れた名曲」であるフルート協奏曲を演奏する予定だが(9月1日、7:00PM)、それぞれ別のステージでは、モーツァルトもやるし、バロックもやるし、「崖の上のポニョ」など子供連れのOKのプログラムもこなすのだという。よい演奏は雑踏のざわめきの中でも人の心に届く。街の陰影の中に置いてこそ輝きを増す音楽だ。そう信じて、大フィルの面々は挑戦を続けるのだ。「大阪クラシックの期間中は、大フィルにたくさんの方々が来られるんですよ」と井上さん。その言葉に全員が深くうなずく。残暑の街に届く粋な音楽の贈り物。島民としては熱烈なスタンディングオベーションで迎えたい。

大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年、「関西交響楽団」という名称で誕生した関西一のお爺さんオーケストラ。創立から55年間、朝比奈隆が指揮者を務め、現在は大植英次が音楽監督として率いる。個性的な魅力あふれる楽団として知られ、大植が発案した「大阪クラシック」のほか、最近では楽団員の「音の名刺」となるソロCDの制作を始めた。



元・大フィル事務局長が語る 朝比奈隆と「リーチバー」の記憶。

取材・文／中島 淳(本誌)

「何かあったら『リーチバー』へ来い」なんです。用事があるのかと思って行くと、雑談の方が多かったのですが(笑)」。小野寺昭博さんは1956年に関西交響楽協会に入社。関西交響楽団→大フィルへと発展する歴史を裏方として支えた。朝比奈隆は一貫して組織のボスでありオーケストラを束ねる大指揮者であった。「練習が終わったらおい、と言って楽員に酒の相手をしてやる。酒飲めんヤツはアカン、煙草吸うヤツもアカン(笑)でした」。酒は種類を問わず何でも。65年にリーガロイヤルホテル1階にこの「リーチバー」ができるまでは新大阪ホテル(朝日新聞の西隣に73年まで開業)のバーが人気入りで、山田耕筰が来阪したら一緒に飲んだ。「飲んで絆を深める」手は朝比奈が海外で指揮する際によく使ったらしい。スコッチが貴重だったら頃、朝比奈は公演先の楽員に「うるさ型」を見つけたる年代物のウイスキーを振る舞っては味方につけていった。「そんな話をまた「リーチバー」で楽しそうにされる訳ですよ。ヨーロッパでは「ウイスキーはストリートが普通。薄めちゃダメだ」と言われてね」。

「ゴルフも賭け事もせず、趣味はお酒だけ。90を過ぎても「リーチバー」カウンターに「角柱の向こう側」が指定席で、オフでもジャケットを着て飲む姿をバーテンダー(当時)の古澤孝之さんは思い出す。「またマティーニから始めようかな、とおっしゃってましたね。90代の方だとは思えない若々しさだなあと、カウンター越しに眺めておりました」。



小野寺昭博さんは1956年に関西交響楽協会に入社。関西交響楽団→大フィルへと発展する歴史を裏方として支えた。朝比奈隆は一貫して組織のボスでありオーケストラを束ねる大指揮者であった。「練習が終わったらおい、と言って楽員に酒の相手をしてやる。酒飲めんヤツはアカン、煙草吸うヤツもアカン(笑)でした」。酒は種類を問わず何でも。65年にリーガロイヤルホテル1階にこの「リーチバー」ができるまでは新大阪ホテル(朝日新聞の西隣に73年まで開業)のバーが人気入りで、山田耕筰が来阪したら一緒に飲んだ。「飲んで絆を深める」手は朝比奈が海外で指揮する際によく使ったらしい。スコッチが貴重だったら頃、朝比奈は公演先の楽員に「うるさ型」を見つけたる年代物のウイスキーを振る舞っては味方につけていった。「そんな話をまた「リーチバー」で楽しそうにされる訳ですよ。ヨーロッパでは「ウイスキーはストリートが普通。薄めちゃダメだ」と言われてね」。

大フィルの生みの親であり育ての親でもある朝比奈隆(1908～2001)は陽気な酒飲みでもあったが、最初は大戸で、(正岡子規の従兄弟)という。

クラシックは ここで聴け！

クラシック音楽なんてあんまり聴けるところがない？
いえいえ、全然。中之島ではこんなに良い場所・
良い時間にコンサートが開かれているのです。

取材文／佐藤千晴
（以下本誌 田井麻希 若狭健作



朝の光のクラシック @大阪市中央公会堂

土曜朝はシマのカーネギーホールで。
島民にお馴染みの中央公会堂では、
ほぼ毎月1回、土曜日の朝にクラシ
ックを楽しむことができる。企画を
立ち上げたハーベスト・コンサーツ
の木田好子さんは、クラシックを聴
きたいけど、どこに行けば...という
人のために場所を提供したかったと
いう。「都会にあつて皆が知っている
となると公会堂しか思い浮かばなかつた」。
そして、企画当時では珍しい朝の演
奏会を始めた。「公会堂周辺には、
公園や美術館やレストランがある。
朝の音楽の余韻に浸りながら午後も



ティータムコンサート @ザ・フェニックスホール

空中劇場で楽しむ、午後の贅沢。
御堂筋のど真ん中にありながら、
街の喧噪を全く感じさせないザ・フ

エニックスホールは、室内楽やリサ
イタルに適した残響を生みだすため
の多角形構造。しかも演奏者は国内



◎次回公演
9月5日(土)「瀧村依里ウァイオリンリサイタル」
10:30AM開演。入場料1000円(全席自由)。
問い合わせ0727564533 チケット
ぴあ他にて取り扱いあり <http://harvestconcerts.jp>



◎次回公演

8月21日(金)「チャールズ・ナイディックク
ラリネット・リサイタル」2:00PM開演。入場料
3500円(指定席)。問い合わせ06-
63637066(平日10:00AM~5:00PM) チケ
ットぴあ他にて取り扱いあり <http://phenixhall.jp>

日本テレマン協会 マンスリーコンサート @大阪俱樂部

紳士倶楽部でにわか貴族気取り？

本誌でも何度か紹介した大阪俱
楽部。普段は会員以外の入館不可の
紳士倶楽部である。こちらで聴ける
のは、18世紀音楽専門の指揮者とし
てバロック音楽の普
及に努める、延原武
春氏率いる日本テレ
マン協会主催のマン
スリーコンサート。「も
ともとコンサートのも
と点は貴族が邸宅に演奏家を招いて、
サロン(応接室)で演奏させたのが
始まり。その原点に返り、大きなホ
ールではなくサロン風の会場でバロ
ック音楽を聞いてもらいたかった」。



今年で25周年を迎えるコンサートの
名物は、指揮をとる延原氏のトーク。
聴衆に語りかけながら進む和やかな
ムードを楽しみにくるお客さんも多
いそうだ。テレマン協会が目指すの
は「手ぶらで楽しめる、親しみやす
い演奏会」。ややマニアックとされ
るバロック音楽だが、一切の予備知
識ナシでも十分楽しめる。



◎次回公演
会員制倶楽部ではあるが、当日はもちろん誰でも
入場可能。8月4日(火)「テレマン&バッハの
タペ7:00PM開演。入場料3000円(全席自由)。
問い合わせ06-634511046
<http://www.cafe-teleman.com>

アサコムコンサート @朝日新聞社

20周年の名物イベント。

中之島のランドマーク・朝日新聞
社でも月1回、金曜日の夜にクラシ
ックコンサートが開かれている。同
社1階、だれもが自由に入れるコミ
ュニケーションスペース「アサコム」
での「アサコムコンサート」は、89
年から続く名物企画。9月で209
回を迎える。ふだんは展覧会などを
催すスペースだが、反射板で音響を
補強したステージをつくり、パイプ



ようこそ、 オーケストラの世界へ @朝日カルチャーセンター

朝カルで14年続く人気講座「オーケストラ指定席」。
教室ではオーケストラの「いろは」から、曲が生まれ
た時代や作曲家の人生観などの背景までを学ぶ。講師
で音楽評論家の響敏也氏の気取らない語り口は、初心
者にも親しみやすく長年通い続けるファンは多い。

「CDやDVDはい
わば缶詰。やっぱ
り音楽は生で味わ
ってみたい」と
いう響氏のこだ
わりから生まれ
たリハーサル見学が
講座の目玉だ。練
習場にお邪魔し、指揮者の細やかな指示や普段着の演
奏者に出会える貴重な機会は、マニアならずとも楽し
める。そして締めくくりにコンサート本番。練習から
どのように演奏ができあがってきたのか、ドキュメン
タリーとして楽しめる3ヵ月間なのである。



「オーケストラ指定席」全6回の講座とコンサートで20,490円。
演奏会の曲とともに毎回テーマが変わるため、内容の詳細は
お問い合わせを。次回は10~12月期。06-6222-5222

椅子を並べてコンサ
ート会場に変身。ピ
アノ、声楽、室内楽
など内容はバラエテ
ーに富む。演奏家
は実力派ぞろい、と
きには京都芸大教授でもあるピアノ
スト神谷郁代さんのような大物が登
場すること。しかも入場無料とあ
つて、毎回、招待状を求める応募多数、
抽選倍率は最低2倍という人気。自
由席だが、前の方に陣取ろうと昼過
ぎから並ぶ強者もいる。

◎次回公演
9月11日(金)6:00PM、バイオリン鈴木健史
のデュオ、ピアノ梅澤弘子。詳細は8月中旬に
朝日新聞で告知。往復はがきで申し込みを募り、
抽選で200人を無料招待。問い合わせ06-
62018033





初心者も大歓迎です！

CDショップ「ワルティ堂島」中岡教夫さん

会社員時代から客として通っていたレコード店に転職して30年ほど。その後、5年前に仲間とこの店を開きました。4万5千点ぐらい置けるかな。クラシックは、よそではちょっと手に入らない非公式ライブ、放送音源など「プライベート盤」から「モーツァルト100」のような入門編のオムニバス盤まで揃えています。直輸入盤があつと驚くお買い得価格で出ることもあるので、常連さんはこまめに覗かれますね。初心者も大歓迎。初めての方も必ず「こんな人が聴きたい」という何らかの情報をお持ちなんです。お話しするうちに、何をオススメしたらいいのかが分かる。だから気軽に相談してくださいね。僕のお好みですか？ 最近は視野が狭くなってもうて、バロック以前の音楽ばかり聴いてます。



輸入盤には1枚1枚、日本語データを手書きした帯が。こんな親切な店、ありません。

ワルティ堂島 ☎06-6344-3940 大阪駅前第1ビル B1 11:00AM～9:00PM (日・祝～8:00PM) 無休

音によくあうティーサービス。

[ティーハウス ムジカ] オーナー 堀江敏樹さん

音楽評論家の父が1952年に開いたお店でね。レコードもオーディオも高価な時代、お客さんのリクエストを流す「音楽喫茶」として営業をはじめたんです。おそらく日本初じゃないかな。店名はイタリア語で「音楽」。お店には音楽家をはじめ、文化人や阪大の学生なんかが集まって、まさにサロンの雰囲気でした。69年には2代目の私がお店を改装し紅茶専門店として再出発しました。店内の音楽はやっぱりクラシック。私も父の影響で子どもの頃から親しんでいるし、紅茶にもよくあうんですよ。78年からは北新地にある日本テレマン協会の演奏会でティーサービスを続けたり、今もクラシックとの縁は深いですね。隣接するカフェトリジェールでは不定期でサロンコンサートもやっているんです。



創業者の父・謙吉氏。音楽評論家として活躍し、朝比奈隆とも親交が深かったとか。

ティーハウス ムジカ ☎06-6345-5414 11:00AM～10:00PM 日・祝休

アナログ盤の世界へようこそ。

[パストラーレ] 店主 野原邦彦さん

輸入アナログ盤専門店「パストラーレ」を西天満に開いて1年経ちました。デジタル音源が主流の今だからこそ、レコードで聴くクラシックの素晴らしさを伝えたいと思ひましてね。1950～60年代のヨーロッパ盤を中心に現在1500枚ほど扱っています。音に臨場感と奥行きがあって、何時間聴いても疲れないのがアナログ盤の良さなんです。その時代の物は特に質がいいんです。フルトヴェングラーやワルターといった巨匠もギリギリ生きていた頃で、内容的にも秀作が多い。といっても決してマニアの方だけでなく、これからクラシックを聴きたいという方のお手伝いができればと思っています。気になる盤があれば、どんどん手に取ってください。店内のソファでゆっくり試聴もしていただけますので。



店名はベートーヴェンの交響曲第6番「田園」の意味。初めて買ったレコードから取ったそう。

パストラーレ ☎06-6364-1595 0:00PM～7:30PM (日・祝11:00AM～6:30PM) 月曜休

「成長する」音を作りたい。

[Liuteria BATO] バイオリン職人 馬戸建一さん

プラモデル好きが高じて木材工芸科のある高校へ進み、父の経営する楽器販売店に入りました。ちょうどオリジナル楽器の販売を始めたいて考えていた時期で、職人が欲しかったようです。仕事は自然光の入る窓際の机でやっています。部品の削り出しから組み立て、ニス塗りに至るまで1人で作業するので、1本仕上げるのに3か月かかります。職人として気になるのは形の美しさですが、バイオリンは弾いてこそ音色が良くなる楽器。形の完成は通過点です。10年くらい前に作った楽器を修理すると、作り直したい衝動に駆られる反面、10年モノの手応えもあって奥深さを実感しています。7月には、中央公会堂で開かれた展示会に初出品しました。弾いてもらってナンボなので、いい経験になりました。



弟の崇之さんを含め3人の職人が働く。30回ほど塗り重ねて深みのある色合いを出す。

Liuteria BATO ☎06-6946-0316 11:00AM～6:00PM (土曜～5:00PM) 日・祝休

マンガや小説に出てきた曲、テレビで話題になっていた人……などの入り方は邪道でしょうか？

いえ、とてもいいきっかけだと思います。最近ではピアニストの辻井伸行が大きな話題になり、リストの「ラ・カンパネラ」が繰り返しニユースで流れましたし、村主樹の「IQ84」に描かれたヤナーチェクの「シンフォニエッタ」というちょっと変わった曲が注目を集めました。人気マンガをドラマ化した「のだめカンタービレ」は、私もとても面白く観ましたし、「フィギュアの浅田真央が使っている曲は？」なんていう入口があつてもいい。そして興味を持ったら、ぜひ一度コンサートに行ってみてください。幸い大阪には4つのオーケストラがあります。何といつても生演奏の感動は格別ですよ。

同じ曲でも、ジャズのようにならぬ指揮者によって解釈や表現が全然違ったりするんですか？

クラシックの曲は普遍的な作品として完成されていますから、一聴して分かる違いは出にくいのですが、微妙な表現の特徴を聴き分けられるようになると、愉しみはぐんと広がります。よく知られた名曲には、「名演」とされる定番演奏が必ずいくつかあります。例えば「田園」なら、ブルイーノ・フルター、カール・ベーム、イツセルシュテットが指揮した作品が有名です。古典落語で「この囃家がやるあのネタは絶品だ」なんていいますよね。それと同じ感覚です。

D店や詳しい友人に聴いてもらうのも手ですね。私が以前いた店では、歌って伝えるお客さんもいましたよ。気になる曲があるというのは、一生大切にできる音楽と出会うチャンス。聴せずとんとん尋ねてください。もちろん私も大歓迎です。

メロディを断片的に知っているても、題名が分からない場合は……。あまりに有名な曲だと、今さら人に聞けない」と戻込みしてしまいませんか？

ここで、どんな時に耳にしたかさえ分かれば、結構調べられます。今はネット検索もできますし、それに、よく演奏される曲というのは割合決まっています。ベートーヴェンなら3番「英雄」、5番「運命」など標題の付いた交響曲。モーツァルトには41もの交響曲がありますが、主に取り上げられるのは後期の6曲です。探したい曲を携帯などに録音してC

曲で選べばいいんですか？作曲家？それとも指揮者や奏者で選ぶんでしょうか？

最初はやはり曲。耳慣れたメロディを追うのが入りやすいですね。実は日本人はCMなどで無意識のうちにかなりクラシックを聴いています。例えば、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」、チャイコフスキー「ピアノ協奏曲第1番」、モーツァルト「交響曲第40番」、バッハのベルの「カンツォーネ」、カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」……。その曲の定番とされる名演をまず聴いてみて、気に入ったら指揮者や奏者による違いを楽しんでいただいたいと思いますよ。

取材・文／松本 創(本誌)

ビギナーのためのクラシックQ&A

興味はあるものの実は全くの門外漢、「クラシック音痴」揃いの月刊島民編集部。かつて大手CDレーンのクラシック担当を務めていたパストラーレ店主の野原邦彦さんに、入門の心得を聞いてみました。

大阪のクラシックを語る上で、中之島はまさに聖地。大正・昭和期、この地に公会堂やホールが次々に生まれ、音楽文化のゆりかごとなった。

江戸時代、中之島は各藩の蔵屋敷が並ぶ経済の中核だったが、明治維新後、新政府の手で学校、図書館、役所などが集中する文教地区、そして公園として整備される。そこに古い言い方なら「旦那衆」、現代風に言えば「企業の社会貢献」が加わった。明治36年（1903）に誕生した府立中之島図書館の建物は住友家の寄贈である。

中之島公会堂の愛称で親しまれる大阪市立中央公会堂もその一つ。「インテリ相場師」と呼ばれた岩本栄之助が私財100万円（現在なら50億円相当という）を投じて建設して大阪市に贈り、大正7年（1918）にオープンした。岩本は財界の視察団に加わって訪米、人の集う場が民主主義の根本と痛感し

て建設を決意したという。

ちょうど大正デモクラシーのころ。政治講演会や消費者大会など時代を映す催しが目白押しの中、音楽や演劇も人気を博した。オーブニングシリーズには宝塚少女歌劇が上演され、その後、バイオリンのミッシェ・エルマン、エフレム・ジンバリストといった世界の一流どころもステージに立った。「シヤリアピンステーク」に名を残すロシアの名歌手、フョードル・シヤリアピンも亡くなる2年前の昭和11年（1936）、最初で最後の来日で中之島公会堂でも歌っている。

「文化の殿堂」朝日会館、竣工

ほどこなく、「主役」の座は渡辺橋の南西、朝日会館に移る。こちらは1915年（1926）に、朝日新聞社が創刊50周年記念事業で建てた「文化の殿堂」である。空調完備の1600席のホールを擁し、映画や絵画展も催された。

充実した会報も発行、大阪のカルチャーサロンとしてにぎわった。バイオリンのハイフェッツ、バレエのアンナ・パブロワら海外の芸術家が観客を熱狂させ、戦前の名伯楽・近衛秀磨もたびたび指揮に訪れた。

大阪が生んだ音楽家たちの晴れ舞台となったことも、中之島とクラシックの関係を深めることとなった。28歳の若さで早世した天才音楽家・貴志康一（1909〜37）のベルリン留学からの帰国リサイタルが催された。近年、再評価が進む神戸生まれ作曲家・大澤壽人（1907〜53）は昭和13年（1938）に自作のピアノ協奏曲「神風」を初演した。

昭和22年には指揮者・朝比奈隆（1908〜2001）が登場する。関西交響楽団（後の大阪フィルハーモニー交響楽団）を創設、ドボルザークの交響曲「新世界より」で旗揚げした。まだ焼け跡も生々しい大阪に再び音楽が響き渡り、人々は中之島へ押し寄せた。上

クラシックと中之島の近代史

佐藤千晴（朝日新聞記者）

中之島はいかにしてクラシック音楽にふさわしい街となったのか。両者の関係はそのまま、大阪という都市のクラシック受容の歴史だった。

演が優に600回を超える團伊玖磨作曲のオペラ「夕鶴」が昭和27年（1952）に産声を上げたのも、ここ、朝日会館である。

日本初のクラシック専用ホール

ドイツ風の近代的な黒いビルディングは、しかし、高度経済成長前後、阪神高速道路の建設地となり、昭和37年にその歴史に幕を下ろす。

幸い、その4年前に新たな楽の殿堂が四つ橋筋をはさんで東側に生まれていた。フェスティバルホールである。こちらもバックには文化事業に力を入れた朝日新聞社の存在があった。深紅を基調にした2700席の大空間は、日本で最初の本格的なクラシック専用ホール。竣工式では朝比奈が関響を指揮、エルガーの行進曲「威風堂々」などを奏でて祝った。

作曲家としても歴史に名を残すストラヴィンスキー、クーベリック、ジュリーニ、ヨッ

フム、カラヤン、バーンスタイン、小澤征爾といった指揮者たちや、ピアノのアルゲリッチ、バイオリンのスターンら20世紀を代表する錚々たる音楽家が演奏した。1967年にはワーグナーの聖地・バイロイト音楽祭からの「引越し公演」が世界で初めて実現、日本中のオペラファンを熱狂の渦に巻き込んだ。

フェスティバルホールはまた、大阪フィルの定期公演の会場ともなった。昭和47年の第100回公演では、マーラーの「千人の交響曲」を本場に1000人で演奏するという壮举を成し遂げた。大阪が生んだバイオリニスト・辻久子のリサイタルも多い（ちなみに彼女は中之島公会堂と朝日会館でもたびたび弾き、現在は生活の場も中之島。ぜひ「中之島の至宝」と呼びたい）。

そんな「クラシックの殿堂」でありながら、レッド・ツェッペリンやディープ・パープル、マイルス・デイビスにキャンディーズ、はたま

たジャニーズ軍団までが共存する懐の深い空間だったフェスは、改築のため、昨年末でいったんその歴史に幕を下ろした。フェスをこ

よなく愛した山下達郎は、12月に計4日間のライブを敢行（もちろん超満員）。最終公演は12月30日、朝比奈亡き後に大阪フィルを率いる大植英次が指揮するベートーヴェン「第九」が締めた。大曲の後、竣工式と同じ「威風堂々」が演奏され、クロージングを飾った。

1980年代以降、福島のザ・シンフォニーホール、大阪城公園のいずみホール、梅田新道のザ・フェニックスホールなど、大阪にクラシックの拠点は増えた。だが、図書館があり、美術館があり、緑があり、川が流れる中之島という文化ゾーンの環境は、日本全国を探してもなかなか存在しない。フェスが消え、改めてここに楽の殿堂があるありがたみを実感する。2013年、新たなフェスティバルホールが動き始める日を楽しみに待とう。



右／フェスティバルホールの音響には多くのミュージシャンが信頼を寄せる。左／中央公会堂の大集会室では今もコンサートが（P6）。

島民ならコレ！

中之島を聴くクラシックの名盤



Disk.1
朝比奈隆指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団
ベートーヴェン「第九」
（エクストン／3,150円）

2000年12月29日、30日、フェスティバルホールでのライブ録音。朝比奈は生涯に251回「第九」を指揮。恐らく世界最多。その250回目と251回目を2枚組にしたマニアックなセット。朝比奈は翌2001年12月29日、大阪フィルがフェスで「第九」を奏でていたその瞬間に病院で息を引き取った。



Disk.2
ストラヴィンスキー指揮
NHK交響楽団「火の鳥」
（TDKコア）

20世紀の大作曲家が自作を指揮した歴史的映像。1959年、フェスティバルホールでのライブ（モノラル）で、できたばかりのホールの雰囲気もうかがえる。残念ながら現在、入手困難。



Disk.3
大澤壽人ピアノ協奏曲第3番「神風」
（ナクソス／1,250円）

朝日会館でのライブ……ではなく、ロシアの指揮者ヤブロンスキーとピアニストのサランツェヴァの顔合わせによる録音。「神風」は、当時、東京〜ロンドンの最短飛行を記録した航空機の名前。



竣工時の朝日会館。その翌日、菊池寛、武者小路実篤らが記念公演をした。左に小さく見えているのは大阪瓦斯（ガス）の本社ビル。



『月刊島民』はここでもらえます。

京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋／ブックファースト梅田店／旭屋書店 本店／旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ビルトンプラザ店／ブックファースト 文教堂書店淀屋橋店／福家書店 淀屋橋店／天牛堺書店 大江橋店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店天満橋店／アバンティBC OMMビル店／紀伊國屋書店 京橋店／隆祥館書店／大阪市中央公会堂／府立中之島図書館／専門学校中の島美術学院／朝日カルチャーセンター／大阪大学中之島センター／大阪大学21世紀懐徳堂／摂南大学地域連携センター／慶應大阪リバーサイドキャンパス／追手門学院 大阪城スクエア／大阪倶楽部／芝川ビル／大阪国際会議場／市立住まい情報センター／大阪商工会議所／大阪企業家ミュージアム／大阪市立中央図書館／大阪歴史博物館／奈良県立図書情報館／宗是そば／喫茶大 大阪／ネイルサロンスワンナ／吉田理容所／たまがわ鍼灸整骨院／ABC朝日放送／MANGUEIRA／TOSABORI SANDWICH BAR／Girond's JR／じろう亭／ミニジロー／黒門さかえ／ティールームスジカ／BAR THE TIME 天神／N4タワー マンションパビリオン／ホテルNCB／MJB珈琲／上町貸自転車／ザ・メロディ／なんば書店カルチャーコーナー その他、取材協力先

♪は「大阪クラシック」の会場です。

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です！

解剖実習

それは医学生にとって、最大のイニシエーション（通過儀礼）である。初日には必ず卒倒する学生が出るとか、焼肉を食べられなくなるとか、さまざまな伝説がささやかれている。

私が医学生だった当時、中之島にあった阪大医学部の建物は、いつ幽霊が出てもおかしくないほど陰気で古びたものだった。

解剖室の入口に、年代物の揮毫が掛けてある。

「屍生師」＝「屍（しかばね）は生ける師なり」

解剖に際して、厳肅な気持ちにさせるための戒めだろう。ところが文字が昔ふうによりから書いてあったので、ふつうに読むと、「師は生ける屍なり」となる。それもまた真なりと、学生たちは笑っていた。

解剖実習は3回生の秋からはじまる予定で、その時期が近づくと、学生たちの緊張はいや増して高まる。うまくできるだろうかと友人たち

と話していると、ある級友が、「僕は猫を解剖して練習しているから大丈夫や」と言ったので、吃驚した。

彼曰く、「他人の身体を解剖させてもらうのに、ぶっつけ本番では失礼やろ。動物でリハーサルするくらいの準備は必要とちがうか」。彼は野良猫を捕まえてきて、クロロホルムで眠らせ、そのまま解剖していたらしい。

「生きている猫の腹膜は、真珠色できれいやぞ」超優等生の彼は平然としていたが、私にはその感覚が信じられなかった。後年、彼は医師になつてまもなく、人間関係に悩んで自殺した。

実習では、学生4人のグループで1体を約4カ月かけて解剖する。120人のクラスだったので、遺体の数は30。実習は午後からで、初日の昼休み、私は恐いもの見たさに、まだだれもない解剖室にひとり忍び込んだ。倉庫のよう

中之島ふら青春記④ 久坂部羊

解剖に慣れちゃいけない。

のうどんをかき込んだりもしていた。

彼らは解剖される相手のことを、どう考えていたのだろう。

私のグループが解剖したのは、60歳くらいの男性で、当時、「クマさん」の愛称で知られた阪神タイガースの後藤監督に似ていた。その人の体にメスを入れ、皮を剥ぎ、内臓を選び分けていく。顔の解剖では、表情筋といわれる目や口のまわりの筋肉を確認し、頬の脂肪を取り去り、眼球も摘出し、骨を露出させて、神経の走行を調べる。顔の皮はあとでかぶせられるよう横につけたままで、ふと見ると、眉毛がそのまま残っている。死後のびたと思われる髭も、額の皺もそのままだ。

そういうものを見ると、私はこの人がどういう人生を送り、どんな家族を持ち、どういう理由で死んだのかを考えると、はいられない。

解剖の後半で、頭蓋骨を開けると、肌色であるはずの脳が、えび茶色だったので、この人が脳出血で亡くなったことがわかった。すると今度は、倒れたとき、この人はどんな気持だったのだろうか、家族はどれほど悲しんだのかなどと考へてしまふ。

同じようなことが、30ある遺体のすべてに言えるはずだが、そんなことを考えている学生は皆無のようだった。みんな臓器の名前を覚え、その仕組みや構造を理解するのに懸命で、解剖される人の人生など、念頭にも浮かばないよう

な部屋に黒塗りの木製の解剖台が2列に並び、セメント製の水槽が3基しつらえてあった。重い蓋をずらすと、水のぬい水槽に10体ほどの遺体が積み重ねられていた。生まれてはじめて目にする死体だ。痩せた老婆のうつぶせの白髪頭、太った老人の頬のいぼ、刺青のある男の腕、中年女性のふくよかな太もも……。

遺体の保存はホルマリンではなく、石炭酸だったので、ブラムケーキそっくりのにおいがした。私は順に水槽の蓋を開けてまわり、たつたひとりで30もの死体に囲まれて、圧倒された。「死」という絶対的な現実には、逃げ道をふさがれ、医師になる前に「死」に屈服させられた気がしたのだ。だから今でも、駅などで雑踏に紛れると、ここにいる全員（もちろん自分も含め）が、いずれ死ぬということを強く意識する。

解剖をするときの恰好は、白衣にゴム手袋、

すなのだ。

実習が進むにつれ、遺体は人間の形を失い、分解された腕、胸部、頭蓋骨、下腿などがそこらに転がるようになる。ばらけた遺体は、その日の実習が終われば、包帯でひとつにまとめられる。はじめはいいねいに復元するが、次第にいい加減になり、左右の腕を逆につけたり、つま先が下向きになったりする。

解剖に慣れるうちに、そういうことを何とも思わない神経が、医学生的心里に入り込むのではない。人体をパーツに分け、それぞれを部品と見る感覚。人間を部品の集まりだと考え、理屈で理解する意識。すべての遺体に人生があり、喜怒哀楽があり、さまざまな経験と深い思いがあったはずなのに、解剖実習はそれをいっさい無視して進む。

もちろん、解剖実習は人体の成り立ちを学ぶのが目的で、遺体の人生を想像するために行うのではない。献体してくれた人も、そんなセンチメンタルなことは考えずに、しっかり勉強して立派な医師になってくれと思うかもしれない。しかし、医師は患者の病だけでなく、心も癒すことを求められるのではないか。

医師はある程度はふつうの感覚を捨てなければ、冷静な判断や処置ができない。解剖実習はそのための試験と言えるかもしれない。

解剖実習で得たものと捨てたものの、どちらが大きかったのだろうか。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。今月発売の『小説すばる』に、短編「知らぬがホトケ」が掲載。

平塚桂（以下、桂） 梅檀木橋は江戸時代初期から存在した歴史の長い橋ですよ。近くにセンダンの大木があったことが橋名の由来と言われています。

たかきみ江（以下、み江） 今でも北浜側の橋のたもとに、センダンの木がありますね。

桂 あれは地元の人の寄付で昭和51年（1976）に植樹されたものだそうです。

み江 イイ感じに繁ってるから、江戸時代からあるのかと思っちゃいました。桂 橋自身も、フェイクといえばフェイクですね。昭和60年（1985）に架け替えられたものですが、1935年築の古い橋の姿をかなり継承しています。戦後になって架け替えられた橋は多いのですが、ここまでそっくりの橋がつくられた例は珍しいです。

み江 うーん、なんでそこまで先代の橋にこだわったのかな。どこがスゴイ

のか、パツと見では分らないんですが。華やかな大阪市中央公会堂が目の前にあるせいか、どちらかというと地味目な橋に見えますよ。

桂 そこが橋マニアにはたまらんです。先代の特徴は約1mと薄く真っ直ぐな桁形のシンプルさが斬新だったそうです。み江 横から見ると、何だかハーモニカみたいですよ。薄っぺらな橋脚が小刻みに並んでいて、その上にベタっとした桁が乗っかっているから。

桂 デザイン担当技師の元良勲が「軽快簡素、86mの長さを真一文字に引ききった所は極めて効果的」と橋の眺めを自画自賛した意欲作なんです。

み江 しかし、くびれない幼児体型的というか、もうちょっとメリハリがあった方が、押し出しが強くていいと思うんですけどね。橋としては。

桂 そこはそれ、中之島の橋はそもそもほとんどの橋がグラマラスです。何しろ「市街地の橋梁としては美観上好ましい」とアーチ橋ばかり好んで架けていたエリアです。曲線美じまんの橋が既にズバリとあったわけ。

み江 つまりグラマー体型に飽きたということ？

桂 洋風のアーチばかりつくってきたから、ほっそりと柳腰の橋が欲しくなったんでしょうか。何しろ**第一次都市計画事業**でつくられたシマの橋としては、最後期のもの。実験的な作風に走

1976年に植樹されたセンダンの木。

Talk about bridges!!
橋の話をしよう①

梅檀木橋

文 ぼむ企画
絵 網本武雄（本誌）

せんだんのきばし
梅檀木橋

1985年完成。中之島中心部と北浜エリアを結ぶ橋。1935年築の橋の老朽化と耐震対策のため、既設の下部構造の多くを用いて架け替えられた。シンプルな構造美を継承しつつ、植栽や歩道の舗装により柔らかな表情を持つ。幅15.74m、全長86.37m。

橋の北詰には華やかな
大阪市中央公会堂。

高さを約1mと薄く、端から端まで一直線の橋桁。

クラシカルな趣に合わせて新設されたバルコニー。

桂 現代建築界はここ10年くらい、いかに屋根を薄く、柱を細くできるかと、限界への挑戦に躍起になっていますからね。

み江 つまり梅檀木橋は1930年の段階で、21世紀のモードを先取りした、ということ？

桂 シマの橋、おそるべし。

ぼむかく たかきみ江、平塚桂の2人による建築ライ터ユニット。「カーザ・フルタス」ほかの雑誌にも執筆。「げんちく家対決」や「げんちく雑誌ガイド」など独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

※1 元良勲

もとら いさお 1900年生まれ。1924年に京都帝国大学の建築学科を卒業後、師匠武田の指導を仰ぎつつ、大阪市内の多くの橋の設計に関わる。

※2 第一次都市計画事業

1921年に開始された街路と橋の一大整備事業。約20年間で大阪市内の150を超える橋を永久橋として整備。シマの橋も約半数がこの機会に一新された。

※3 最近のハヤリの建築

壁や柱などをギリギリまで薄くしたものの、妹島和世の作品に代表されるここ10年の建築デザインの傾向で、軽やかさや儚さなど、あくまでも美意識に基づく表現。

今月のテーマ【丸坊主】

昔は丸坊主だったあなた、この清々しさをとくと見よ！
中之島にももっと「丸刈リーマン」が増えて欲しいものだ。
取材・文／田井麻希（本誌）



審査員／大平秀峰さん
[NAKAGAWA1948 尼崎店] 店長
淀屋橋・西梅田の両店舗にておなじみの島民御用達テラー。その絶妙な採寸テクニックから“ゴッドハンド”の異名を持つ大平店長は、今春再オープンしたした尼崎店へ。アマからシマを見つめる。今回のコスプレは爽やかに、デビュー期の山下達郎。http://www.nakagawa1948.co.jp



「料理人は清潔感が一番やから」

「スーツで坊主はダメですかね？」



佐川印刷株式会社 中野宏次朗さん(29)

就職を機に伸ばしていましたが、3年前くらいからまた坊主になりました。楽だし散髪代も安くて済む。ただ、もともとクセ毛で、これでも少し伸びると七三に分かれてくるんです。「坊主で七三の人を初めて見た」と言われます。中之島方面には担当の出版社が近いのでよく来ますよ。



スーツを良く見せるためには体型や髪型、装飾品はシンプルな方が良い。ですから坊主頭でも問題はないと思います。むしろ髭や日焼けなどで変えるべきでしょう。このスーツでしたら、中野さん、少し日焼けされても良いかもしれません。



「人生のほぼ半分はこのヘアスタイル」

「パールゴッチョ」 竹内啓二さん(32)

高校球児だった頃から坊主です。途中、伸ばしたこともありますけど、やっぱり、しっくりくるのはこのスタイルですね。厨房仕事は髪の毛なんて気にしてられません。茶髪なのは自分でブリーチしてるから。最初は慣れなくてよくムラになったんですけど、今じゃプロ並みの腕前です。



細身でいらっしゃるので、ブリーチがアクセントになってマスクの甘さが際立っています。スイカにかける塩と言いますか、ぜんざいに付いてくる塩昆布と言いますか。この方もまた自分のことをよく分かってらっしゃいます。



「岸和田の男は髪の毛伸びへんのです」

ライター／編集者 尾添雄介さん(36)

ダイビルの編集プロダクションに出入りしています。生まれ育った岸和田では、市立中学の男子は全員丸刈りという校則がありました。卒業してからは、それこそ色んな髪型に手を出してきましたが、落ち着いた先はやっぱり坊主。真冬の寒さは堪えますけど、多分死ぬまでこれかなあ。



上はバイアス（部分ごとに柄のパターンを変える）の入ったクレリックシャツ、下はジーンズにハイテクばいスニーカー。茶目っ気と礼儀を兼ね備えたコーディネートは職業柄でしょうか。カジカジ世代のだんじり少年という印象です。

去年の七夕に始めた店も、おかげ様で1周年を迎えることができました。店のオープンに合わせて丸めた頭も1周年（笑）。食べもんを扱う仕事は、やっぱり清潔感が一番大事やと思うから、手入れは週1ペース。店が休みの日曜日に、湯舟に浸かりながらT字カミソリで剃ってます。



よく分かってらっしゃいますね〜。赤にはたくさんの種類があるのですが、こういった発色の良い、日の丸の色に近い赤色は日本人の肌によく合います。ポロシャツのざっくりした着方といい、鹿の子の生地といい、ご職業や体型にぴったりのものを選ばれていて、さすがです。

口が「へ」の字」の中之島か。子供の頃、俺はすぐ泣いていた。今もよく泣いている。誰もがそうだと思うがこの平和な日本で平凡に暮らしていて泣くのは負けたからで



また来てしもた、
中之島。あー。バックキー。イノウエ

其の四
泣きの中之島、
何をこらえているんだろう。

その時代時代の地雷のような歌やフレーズがある。

時代に気づきましたね」とメッセージが来た。そのメールにはダイア・ストレイツのことがチョットだけ書かれていた。仕方がないから俺は中島みゆきと吉田拓郎がコンサートで一緒に唄っていた「永遠の嘘をついてくれ」のことをチョット書いて送った。それはまるで爆弾を送るようなものだと思う。

子供の頃、俺が泣きそうになった時、「お、見てみい、こいつ口がへ」の字になってると、もう泣きよる、もう半泣きや」と、親父が家族や近所の人の前で俺によく言った。そしてその途端、口をへ」の字にして精一杯支えていた気持ちの堰が切れて俺はどーっというも泣いてしまっていた。泣きたい気持ちを外に出せずこらえている時に口がへ」の字になるとしたら、口がへ」の字の島、中之島はいったい何をこらえているのか。何を辛抱しているんだろう。俺はそれを考えながら宵の口に裏寺へ向かった。

四条河原町の北西に広がる通称「裏寺」という境界の「百練」という店で練習して飲めるようになったビールを夕方から飲んでみると、懐かしいバンド「ショッキングブルー」の「ショッキング・ユー」が聞こえてきた。「ピーショッキングユー、ユガッチャショキンメン」などと唄ってる。流行ったのは70年代前半、俺が中学の頃か、女のボーカルの声が昔からたまらなかった。「ヴィーナス」という歌も流行った。「シズガディットヨッパイビーズガッディー」と唄っていたな。悲しき鉄道員とかなんかもあったな。「悲しき」とつけられたいと思ってるその頃の安直なレコード会社ぶりが懐かしい。俺もよく「悲しきサラリーマン」とか「悲しきお勘定」とかよく使っている。湿り気のある日本、時代、ええ加減さが懐かしい。

余談になるが（すべて余談だが）、前々回で中之島の西の端にたどり着いた時、ダイア・ストレイツの「悲しきサルタン」を唄いたくなったと書いた。それをどこでどう聞いたのか神戸は元町の「ゴスペル」というバーのマスターから「ええとこ、ええ

昔、京都の東福寺と泉涌寺のあたりに住んでいた陶芸家の幼馴染もどこで見たのか「おつ、お前なんか中之島かなんかの雑誌に悲しきサルタンのこと書いてたやろ。ダイア・ストレイツの。お前いるんどこで何しとんね」などとブツブツ言いながら電話をかけてきて、どしゃ降りの雨の夜に俺を先斗町の「アルファベットアベニュー」に誘った。そして子供の頃からアラン・ドロンのような顔をしているその陶芸家は、ウイスキーを注文してから俺の方を向いて「ナオミの夢」をワンフレーズだけ歌い、「憶えてるけ」と呟いたのだった。「ひとり見る夢はすばらしい君の踊るそのすがた」だったか。ヘドバとタビデだったか。俺は憶えているともどうとも答えず「名前のない馬は誰の歌やったつけ」と問い返した。陶芸家はそのアラン・ドロンの顔をカウンターのにいるマスター・ヨードタに向けたまま、それからしばらく何も話さなくなった。たぶん頭の中でナオミの夢を三番まで唄っていたのだろう。

俺は中之島と関わるようになってなぜか、その時代時代の地雷のような歌やフレーズとよく出会うようになった。そしてその時代の地雷のような歌はたまらん男や店をたぐり寄せる。宵の口からビールを飲んでいた俺はどんなに聞こえてくる歌に、フレーズに内角を差し込まれ、京都を出て中之島に向かおうとして京阪電車に乗った。乗った瞬間、俺は何をしてるんだとバタついた。 つづく

ばっきー・いのうえ 錦市場の漬物店「錦・高倉屋」店主にして日本初の酒場ライター。最近「酒場ライター養成講座」などを通じて、後身の育成にも力を注いでいる様子。今月8日に「京都店 特撰」を上梓。8日にはサイン会。22日にはトークショーが。問い合わせ ☎0664452105

大正14年、 ダイビル竣工す。

ワシの名はダイビル。産声を上げたのが大正14年10月じゃからもう86歳じや。地上8階地下1階。色具合や骨太さからみて、性別は男じやな。

ワシが建つ場所は江戸時代には鳥取藩の蔵屋敷があつた。明治に入つて浪



今月いっぱいダイビルは閉館。中之島ダイビル・ウェストとして地上26階のタワービルに生まれ変わるのは2012年を予定している。

華倉庫が使っていたが、大正7年に大阪商船が買い取つた。ワシを建てるためにじや。

新築のワシの屋上から見た大阪の眺めは素晴らしいものじゃつた。北には堂島川に田蓑橋。大阪駅が少し見えて、展望台の凌雲閣も先っぽが見えたな。西は夕景の安治川が絶景じゃつた。キラキラまぶしかった。南は土佐堀川。船場の家並みが綺麗に揃っていたのう。大屋根が二つ並んで見えたのは北と南の御堂さん。そうそう、先代の通天閣もボツンと建つておったわい。

東は生駒山系から二上山、葛城・金

剛山まで一望じゃ。中之島には少し先輩の大阪市庁舎が日銀の向こうに建つておつた。背丈はワシの方が高かつたようにも思うが、市庁舎は屋上に塔があつたから、一緒くらいじゃつたかのう。

妹のダイビル新館ができたのは昭和12年のことじゃつた。嬉しかったなあ。ワシが遅しく、妹が清楚。中之島でも評判の兄妹と言われたものよ。

悲しかったのは戦争に尽きるの。ワシや友人の住友ビル、大同生命ビルなどはお国に供出させられて軍需工場のようになつてしまつた。幸い、空襲にも耐えたワシじやが、戦後は連合軍に

一部接収されて：辛い数年間じゃつた。が、それからは大阪の顔・中之島にふさわしく、ワシの周りには超高層ビルがいっぱい建つて賑やかになつたわい。みんな、ワシの子や孫のようなものじや。

ワシの名はダイビル。中之島をずっと見てきた。楽しかつたなあ。もうすぐ姿は変わるが、ココで暮らせて幸せじゃつた。さらばじや。

きょうどう・なんかい
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業前（1989年）に三代目旭堂南陵に弟子入り。1998年大阪市より「咲くやこの花賞」授賞。得意ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花俠客伝」「天満宮霊験記」など。

シマにまつわるあれこれの名刺を勝手にデザイン
ワタクシ、こういう者です。
デザイン／長友啓典

月刊島民 広報部長
難波橋ライオン



ご挨拶遅れまして。ライオンです。

ええ、名刺は持っていたんですよ。実は、手が肉球で持ちにくいものですから、つい出すのが億劫になりましてね（笑）。すみません。もうかれこれ94年も難波橋に詰めてるんですよ。明治時代の終わりから大正の初めにかけては、我々ライオンが重宝されたみたいでね。東京の表慶館という美術館や日本橋にも仲間が勤めてますよ。何の仕事をしているのかですって？ そうですね、中之島の橋のたもとですから、さしずめ広報部長というところでしょうかね。

◎名刺のココロ

阿吽の表情をしているけれど、ふつう「阿吽」というと、狛犬みたいに和風のはずやねんけどなあ。このライオンさんの顔立ちはずいぶん西洋風やねえ。「ハイカラさんが通る」というか、これもやっぱり大正口マンということなのかな。日本橋の三越前にもライオンはいるけど、中之島の方が品があるねえ。いかにも広報部長と呼ぶのにふさわしい。

ながとも・けいすけ

1939年大阪生まれ。1964年日本デザインセンター入社。1969年黒田征太郎とK2設立。エディトリアル、各種広告を手がけるほか、多数の小説に挿絵、エッセイを連載。自身が手がけた名刺デザインをまとめた『成功する名刺デザイン』（共著・講談社）も発売中。



奥様で住宅リノベーション会社に勤務するかおりさんとその仲間とで熊本県で真珠養殖船として使われていた小舟を改装。乗せてもらおうと意外にデッキが広い。「大人が足を伸ばして向かい合える。昼寝してもらっても良いですよ(笑)」



光というより単純に水辺の気持ちよさ、川があることの良さを体感してほしい」と中野船長。モーニングコーヒークルーズ」をはじめ、夜景と一緒に、お酒も楽しめる「ナイトクルーズ」といった週に14便の定期便を中心に、リ

「冷やし中華始めました」と言えば中華食堂の夏の風物詩だが、「朝ごはんクルーズ」なる計画がスタートしようとしている。NHK放送局を脱サラ、船長へと転身を図った「御船かもめ」の中野弘巳さん(左から2番目)。「これまでど

は違う船遊びを提案したい」とのことだが、大阪の川は屋形船や観光クルーズの激戦区。どのような違いを打ち出すのか? 「川幅がそんなに広くなく、橋桁の高さも低い大阪の川を楽しむには小さい船の方が合っている。観

こちらが完成予想模型。自転車を積み込んでもらうことも可能。使い方の幅が広がろうぞうだ。

●御船かもめ
8月初旬オープン予定。「朝ごはんクルーズ」「ナイトクルーズ」など水曜から日曜にかけて定期便は週に14便運航。料金は乗船料1,300円〜、1オーダー制(500円〜)。定期便は基本的に乗合だが、貸切やコースアレンジの相談もできる。運航情報や予約情報は、順次ブログにて案内。
<http://camome25.exblog.jp/>

中之島のシンボル・大阪市中央公会堂が夏休み特別企画「中之島知っとこ探検隊」を開催する。中央公会堂のスタッフが府立中之島図書館、大阪市役所などを歩いて案内しながら、それぞれの建物の見どころや歴史をクイズ形式で紹介していく。しかもスタート地点は普段は公開されていない中央公会堂の特別室。一般公開の機会があれば応募が殺到するだけに、小学生(中学年以上)の子供と保護者が対象のツアーではあるが、むしろ大人の方が夢中になるのでは? 立派で大きな建物が居並ぶ中之島だが、それだけに「知ってるつもり」になっている人も多いはず。平日

開催だがここは思い切って会社を休んで、子供と一緒に「へえ、そっやったんや」とうなずこう。締め切り間近につき、急ぐべし! (大迫 力・本誌)

●「中之島 知っとこ探検隊」
日時/8月20日(木)・21日(金)
9:45AM~11:15AM 10:30AM~12:00AM
11:15AM~0:45PM ※各日3回
定員/各回約30名
対象/保護者1名と小学生(3~6年生)2名まで
申し込み方法/往復ハガキに希望日時、参加者氏名(保護者・小学生とも)、郵便番号、住所、電話番号、ツアーに期待することを明記の上、下記へ。
宛先/〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27
大阪市中央公会堂 「中之島 知っとこ探検隊」島民係
問い合わせ/ ☎06-6208-2002
※応募者多数の場合は抽選。8月5日必着



中央公会堂プレゼント
未来の島民養成ツアー

シマの夏祭りが帰ってきた



『博士の愛した数式』でおなじみの作家・小川洋子もお子さんが小さい頃は楽しみにしていたというリーガロイヤルの夏祭り。「行っ たなあ」と懐かしそう島民も多いのでは。その夏祭りが8月22日

リウムも登場。大阪を食べて遊ぶで見て学ぶ、まさにシマの夏祭りだ。(道田恵理子・本誌)

●水都大阪・夏祭り2009
日時/8月13日(木)~15日(土)
12:00AM~8:30PM
会場/リーガロイヤルホテル
料金/大人2,000円(前売)、2,500円(当日)
子供1,000円(前売)、1,500円(当日)
※入場料と会場内利用券(大人1,000円分、子供600円分)が含まれます。
問い合わせ/リーガロイヤルホテル
宴会予約課 ☎06-6441-1431
(10:00AM~6:00PM)

祝!ローレル賞の受賞が決定!!



シマのニューヒーロー、京阪電車中之島線開業と同時に導入された3000系車両のローレル賞受賞が決定した。ローレル賞とは、鉄道友の会によって選ばれるもので、技術・デザイン面において優れた車両におくられる。本誌第3号にてその「鉄ちゃん」ぶりをいかなく発揮、今回の受賞に際しても寝屋川車庫にお祝いの花を贈ったという黒田一樹氏によれば「ローレル賞は派手さより本質がしっかりした

クルマに贈られる玄人好みの賞。最近のコストダウンによって個性を失ったクルマばかりでしたが、しっかりとしたコンセプトのもと、豪華に造ら

わたしと『月刊島民』



山崎平さん
(東京行電鉄株式会社 開発事業部)
平塚 斉くん(友人の息子)

たまに関西へ行く時に府立中之島図書館や書店でもらっています。北浜の蕎麦屋さんやドーゾ地下センター、筑前橋手前のビルなど気になったところにも行きましたよ。就職活動の時によく歩いたけど、じっくり観察したことはなかったの、これだけ掘り下げられる話題があることに驚いています。宮本輝さんの小説「流転の海」にも、船津橋や福島、梅田(阪神裏)の昔の様子が出てきますよね。話題性に足る人物が多くて、みな面白いというあたり、さすが関西ですね。

勤務地の渋谷という所は、みな暗渠になってしまいいい(水の流れ)がありません。水があって、橋があって、そこに集う人がいる中之島の光景をうらやましく思います。最後に、鉄道好きの斉くんは関西の私鉄にも興味津々のようなので、いずれ車両特集をお願いします。

次号予告 ダイビル・マニア

大正4年竣工、名建築の誉れ高きダイビルは、8月いっぱいをもって閉館となる。建築的意匠について、歴史について、忘れがたい思い出について...。1冊丸ごとダイビルを語り尽くします。

●『月刊島民』vol.14は2009年9月1日発行です!

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄株式会社 地域環境計画研究所
松本 創 大迫 力(編集集団140B)
〒530-6591 大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル140B
Tel 06-6445-2105 Fax 06-6445-2106
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

バックナンバーお譲りします。

昨年8月に創刊した『月刊島民』。大きな支持をいただいていることは、「バックナンバーありませんか?」とダイビル内にある月刊島民プレスを訪ねてくる方々の多さからも伝わってきます。さて、そのバックナンバーにつきまして、1冊につき100円をいただくこととなりました。号を重ねていくうちに保管用のスペースが必要となり、そのための維持管理費を負担していた形です。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。お問い合わせは上記の電話番号まで。



おおきな景色につつまれて、
ちいさな子供になってみる日。



びわ湖・大津港
森小路けい子・音大生

うみ 湖はひろいな、浜大津

観光船に水辺のカフェ、びわ湖を満喫できる浜大津へ。京阪電車に乗って。

大津港

陽気で華やかな観光船
「ミシガン」を眺めている
と、大人も思わず浮かれ気
分に。

077-524-5000

(琵琶湖汽船)

◎浜大津駅から徒歩約3分



ミシガン



大津港

浜大津アーカス

飲食店やアミューズメントの宝箱。
077-527-6555

◎浜大津駅から徒歩約3分



琵琶湖ホテル

上質な美味と眺望をたっぷり。
077-524-7111

◎浜大津駅から徒歩約5分



大津湖岸なぎさ公園

約5kmもつく公園はビーチ付き。
077-527-1555

◎浜大津駅から徒歩約3分～



なぎさのテラス

4軒のオープンカフェが大人気！
077-523-5010(まちづくり大津)

◎石場駅から徒歩約3分



滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

演劇、オペラ、多彩な感動
の舞台。

077-523-7133

◎石場駅から徒歩約3分



①
京阪の
おけいはん、

おけいはん

検索

www.okeihan.net